授業計画（シラバス）
美容科

令和7年4月1日 現在

鹿児島県理容美容専門学校

衛生専門課程 理容科 授業課目一覧表

鹿児島県理容美容専門学校

科目区分		授業形態	授業課目	第1学年	第2学年	授業時数合計	
				年間授業時数	年間授業時数	単位数	
必修課目	専門教育課目	講義	関係法規・制度	0	34	34	
			衛生管理	50	50	100	
			保健	50	50	100	
			香粧品化学	0	67	67	
			文化論	67	0	67	
			美容技術理論	80	87	167	
			運営管理	34	0	34	
		実習	美容実習	450	550	1,000	
選択課目	専門教育課目	講義 実習	カラー技術	40	40	80	
			パーマ技術	40	40	80	
			シャンプー技術	40	40	80	
			ネイル総合	60	0	60	
			まつ毛エクステンション	30	30	60	
			エステ総合（脱毛）	60	0	60	
			メイク・ブライダル	70	0	70	
			アップスタイル	0	60	60	
		実習	理容総合技術	40	80	120	
必須科目授業時数計				731	838	1,569	
選択科目授業時数計				380	290	670	
卒業に必要な総授業時数				1,111	1,128	2,239	

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	関係法規･制度	科目区分	必須	授業形態	講義
対象学年	2年生 通年	担当教員	横山	単位 時間数	34
到達目標	国家試験合格	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	理容師･美容師の資格は、法律により規定され資格なしでは業は行えない。その為の業務に関する衛生及び消費者保護の法規･制度について正しい知識の習得と公衆衛生を担う理容師の社会的責務、職業倫理について理解する。				
授業内容	理容師法･美容師法と理容･美容の業務に関わる関係法規 理容師･美容師が守るべき法律や理容･美容施設の設置基準などを学ぶ 全体的な概要（Ⅰ：法制度/Ⅱ：衛生行政/Ⅲ：理容･美容師法/Ⅳ：関連法規）				
テキスト 教材等	教材：公益社団法人 日本理容美容教育センター 関係法規･制度及び理容師法関係法令集				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	法制度の概要	法の役割･法とは何か･法の実際
3 ～ 4	2	衛生法規の概要	衛生法規の意義･分類･概観
5 ～ 6	2	衛生行政の概要	衛生行政の意義と歴史･衛生行政の分類･生活衛生行政
7 ～ 8	2	衛生行政の種類と行政機関	一般衛生行政の仕組み･保健所の役割と機構
9 ～ 10	2	理容･美容師法 目的	理容美容師法の目的と歴史･構成
11 ～ 12	2	用語の定義	理容･美容　理容師･美容師　理容所･美容所
13 ～ 14	2	理容･美容師法	養成制度･理容美容師試験･免許と登録
15 ～ 16	2	理容･美容師法	業務に従事する理容美容師の義務
17 ～ 18	2	理容･美容師法	理容美容所の開設
19 ～ 20	2	理容･美容師法	理容美容所開設者が講ずるべき衛生措置･それ以外の業務
21 ～ 21	1	中間試験　筆記	中間試験
22 ～ 23	2	立入検査	立入検査･環境衛生監視員
24 ～ 25	2	行政処分	行政処分･行政処分の手続き･審査請求･異議申立て
26 ～ 27	2	罰則規定	罰則について･理容美容師法の罰則
28 ～ 30	3	関係法規	生活衛生法･地域保健法
31 ～ 33	3	関係法規･まとめ	感染症法･労働基準法･消費者基本法･理容美容師の課題
34 ～ 34	1	卒業試験　筆記	卒業試験

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	衛生管理	科目区分	必須	授業形態	講義
対象学年	1･2年生 通年	担当教員	本多	単位 時間数	100
到達目標	国家試験合格	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	住民の健康を守ることを目的として、研究や実践活動をする公衆衛生を通して理容師としての関係性を学び、知識を深め人間の美と健康に関わる職人として理解を深める。				
授業内容	公衆衛生の意義と本質を明らかにすることによって、理容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならない理由を十分に理解する。 全体的な概要（Ⅰ：公衆衛生/Ⅱ：環境衛生/Ⅲ：感染症/Ⅳ：衛生管理技術）				
テキスト 教材等	教材：公益社団法人 日本理容美容教育センター 衛生管理				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	公衆衛生の意義と課題	基本的な公衆衛生について
3 ～ 4	2	公衆衛生発展の歴史	公衆衛生の古代から現代に至るまでの歴史
5 ～ 6	2	理美容師と公衆衛生	理容師･美容師と公衆衛生の関わりとその歴史
7 ～ 8	2	保健所と理美容業	保健所の機能と事業について
9 ～ 10	2	保健① 母子	母子保護と学校保健
11 ～ 12	2	保健② 成人･高齢者	生活習慣病･産業保健･老人保健
13 ～ 14	2	保健③ 精神	精神保健･障碍者自立支援･理容美容の環境衛生
15 ～ 16	2	環境衛生の概要	環境衛生の基礎知識
17 ～ 18	2	空気環境	空気と人の健康の関わり
19 ～ 20	2	衣服･住居の衛生	衣服と居住の要因と健康との関わり
21 ～ 22	2	上･下水道と廃棄物	上下水道と廃棄物の適切な処理システム
23 ～ 24	2	衛生害虫	衛生害虫やネズミ等を排除する方法
25 ～ 26	2	環境保全	水質汚濁･大気汚染･地球温暖化等
27 ～ 28	2	感染症の歴史	歴史の中での人類と感染症との関わり
29 ～ 30	2	感染症と法律	感染症法
31 ～ 32	2	病原微生物の基礎知識①	微生物の種類
33 ～ 34	2	病原微生物の基礎知識②	微生物の形と大きさ

35 ～ 36	2	病原微生物の基礎知識③	微生物の構造
37 ～ 38	2	病原微生物の基礎知識④	微生物の増殖と環境の影響
39 ～ 40	2	感染症の予防①	微生物の病原性と人体の感受性
41 ～ 42	2	感染症の予防②	汚染、感染及び発病
43 ～ 44	2	感染症の予防③	常在細菌叢
45 ～ 46	2	感染症の予防④	免疫と予防接種
47 ～ 48	2	感染症の予防⑤	感染症発生と要因
49 ～ 50	2	感染症の予防⑥	感染症予防の3原則
51 ～ 51	1	進級試験 筆記	進級試験
52 ～ 52	1	理容・美容と感染症	理容業・美容業に対する感染症
53 ～ 55	3	主な感染症	理容・美容の業務に関わる主な感染症
56 ～ 57	2	具体的対策	接客時の感染予防策
58 ～ 59	2	消毒	消毒の基礎知識と基本概念
60 ～ 61	2	理容美容の業務と消毒①	消毒に関連のある法の規定
62 ～ 63	2	理容美容の業務と消毒②	消毒を怠った場合の危険性と理容師・美容師の責任
64 ～ 65	2	消毒法と適用上の注意①	消毒法の種類と消毒に必要な条件
66 ～ 67	2	消毒法と適用上の注意②	病原微生物の抵抗力と消毒薬使用、保存の注意
68 ～ 69	2	理学的消毒法①	紫外線消毒・煮沸消毒
70 ～ 71	2	理学的消毒法②	蒸気消毒・その他の理学的消毒
72 ～ 73	2	化学的消毒法①	アルコール系・次亜塩素酸・グルコン酸コロヘキシジンによる消毒
74 ～ 75	2	化学的消毒法②	両性界面活性剤による消毒・その他の消毒薬
76 ～ 77	2	消毒法と実施上の注意	消毒を行う際に見落としがちな注意点
78 ～ 79	2	各種消毒法①	消毒薬の概要・器具の使い方
80 ～ 81	2	各種消毒法②	常備消毒薬と希釈液の濃度・消毒薬希釈法
82 ～ 83	2	消毒の実際①	各種消毒薬
84 ～ 85	2	消毒の実際②	理容所・美容所の消毒の実際
86 ～ 87	2	消毒法の実際①	清潔保持と清掃・洗剤による清掃法・洗い場の構造と清潔保持
88 ～ 89	2	消毒法の実際②	清掃・毛の処理、蓋付汚物箱等の消毒・ハエや蚊の駆除
90 ～ 91	2	国家試験対策	公衆衛生・環境衛生 復習
92 ～ 93	2		感染症・衛生管理技術 復習
94 ～ 95	2		国家試験対策 模擬筆記試験①
96 ～ 97	2		国家試験対策 模擬筆記試験②
98 ～ 99	2		国家試験対策 模擬筆記試験③
100 ～ 100	1	卒業試験 筆記	卒業試験

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	保健	科目区分	必須	授業形態	講義
対象学年	1･2年生 通年	担当教員	町･長野	単位 時間数	100
到達目標	国家試験合格	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	理容･美容技術の基礎となる人体について、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識を習得する				
授業内容	理容･美容業務を安全かつ効果的に行うために、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識を理解する。全体的な概要（Ⅰ：人体の構造及び機能/Ⅱ：皮膚科学）				
テキスト 教材等	教材：公益社団法人 日本理容美容教育センター 保健				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	第1章 人体の構造及び機能	頭部、顔部、顎部の体表解剖学
3 ～ 4	2	第2章 骨格器系	種類と構造･連結･骨格器系とその働き
5 ～ 6	2	第3章 筋系	種類と特徴･主な骨格筋とその働き･表情筋･理容美容の作業と疲労筋
7 ～ 8	2	学習のまとめ①	人体の構造及び機能（第1章）
9 ～ 10	2	学習のまとめ②	人体の構造及び機能（第2章～第3章）
11 ～ 11	1	中間試験	マーク式･筆記試験
12 ～ 13	2	第4章 神経系	神経系の成立ち･中枢神経とその働き･末梢神経とその働き
14 ～ 15	2	第5章 感覚器系	視覚･聴覚･平衡感覚･味覚･臭覚･皮膚感覚
16 ～ 17	2	第6章 血液･循環器系	血液のあらまし･血液循環の仕組み･心臓と血液の働き･リンパ管系の仕組
18 ～ 19	2	第7章 呼吸器系	呼吸系のあらまし･気道･肺の仕組みとガス交換･呼吸運動
20 ～ 21	2	第8章 消化器系	消化器系のあらまし･消化管の仕組み･消化管の働き･消化と物質代謝
22 ～ 23	2	学習のまとめ⑤	人体の構造及び機能（第4章～第6章）
24 ～ 25	2	学習のまとめ⑥	人体の構造及び機能（第7章～第8章）
26 ～ 26	1	進級試験	マーク式･筆記試験
27 ～ 28	2	第1章 皮膚の構造	皮膚の表面･断面･表皮･表皮と真皮の境･真皮･皮下組織･皮膚の部位差
29 ～ 30	2	第2章 皮膚付属器官の構造①	毛･脂腺（皮脂腺）
31 ～ 32	2	皮膚付属器官の構造②	脂腺（皮脂腺）･汗腺･爪
33 ～ 34	2	第3章 皮膚の循環器系と神経系	皮膚の血管･リンパ管･神経

35 ～ 36	2	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能①	対外保護作用・体温調節作用・知覚作用と皮膚反射
37 ～ 38	2	皮膚と皮膚付属器官の生理機能②	分泌排泄作用・呼吸作用・吸収作用・貯蔵作用
39 ～ 40	2	皮膚と皮膚付属器官の生理機能③	免疫、解毒、排除作用・再生作用・毛のはたらき・爪のはたらき
41 ～ 42	2	学習のまとめ①	皮膚科学（第1章～第2章）
43 ～ 44	2	学習のまとめ②	皮膚科学（第3章～第4章）
45 ～ 45	1	中間試験	マーク式・筆記試験
46 ～ 47	2	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健①	皮膚と全身状態・皮膚と精神・栄養・し好品・体内病変
48 ～ 49	2	皮膚と皮膚付属器官の保健②	皮膚の水分と脂の状態・皮膚、付属器官とホルモン
50 ～ 51	2	皮膚と皮膚付属器官の保健③	皮膚の保護と手入れ
52 ～ 53	2	皮膚と皮膚付属器官の保健④	毛の保護と手入れ・爪の保護と手入れ・子供のお洒落による皮膚トラブル
54 ～ 55	2	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患①	皮膚の異常とその種類
56 ～ 57	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患②	皮膚疾患の原因・治療法
58 ～ 59	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患③	皮膚炎と湿疹、蕁麻疹、薬疹①
60 ～ 61	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患④	皮膚炎と湿疹、蕁麻疹、薬疹②
62 ～ 63	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑤	口唇の疾患・温熱、寒冷による皮膚障害
64 ～ 65	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑥	角化異常による皮膚疾患・色素異常による皮膚疾患
66 ～ 67	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑦	血管腫・脂腺母斑・下肢静脈瘤
68 ～ 69	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑧	分泌異常による皮膚疾患
70 ～ 71	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑨	化膿菌による皮膚疾患・ウィルスによる皮膚疾患
72 ～ 73	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑩	真菌による皮膚疾患
74 ～ 75	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑪	衛生害虫による皮膚疾患・感染症の皮膚疾患の予防
76 ～ 77	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑫	毛と爪の疾患①
78 ～ 79	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑬	毛と爪の疾患②・皮膚の腫瘍
80 ～ 81	2	学習のまとめ⑤	皮膚科学（第5章～第6章）
82 ～ 83	2	学習のまとめ⑥	皮膚科学（第6章）
84 ～ 85	2	国家試験対策授業	国家試験対策 ワークブック使用
86 ～ 87	2		国家試験対策 ワークブック使用
88 ～ 89	2		国家試験対策 模擬筆記試験①
90 ～ 91	2		模擬筆記試験① 解説と復習
92 ～ 93	2		国家試験対策 ワークブック使用
94 ～ 95	2		国家試験対策 ワークブック使用
96 ～ 97	2		国家試験対策 模擬筆記試験②
98 ～ 99	2		模擬筆記試験② 解説と復習
100 ～ 100	1	卒業試験 筆記	卒業試験

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	香粧品化学	科目区分	必須	授業形態	講義
対象学年	2年生 通年	担当教員	寺園　新一	単位 時間数	67
到達目標	国家試験合格	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	理容師、美容師は、お客様にとって香粧品を取り扱うプロとして信頼して技術を受けるため、香粧品を正しく使用するための正確な知識と適正な技術を身に付け、社会的な意義や法的な根拠、安全性を担保することを理解する。				
授業内容	香粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が化粧品に属するか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安全性について、正確な科学的知識と合理的な取り扱い方法、香粧品による危害を防止するための使用方法を学ぶ				
テキスト 教材等	教材：公益社団法人 日本理容美容教育センター 香粧品化学				

授 業 計 画

授業コマ数		項　　目	内　　容
1 ～ 2	2	第1章　香粧品概論	香粧品の社会的意義と品質特性
3 ～ 4	2	香粧品の規制①	香粧品の定義・製造販売の規制
5 ～ 6	2	香粧品の規制②	香粧品の品質等の規制・表示、広告の規制
7 ～ 8	2	香粧品の安全性と取扱い上の注意	香粧品の安全性・経時変化・使用上、取扱い上の注意
9 ～ 10	2	第2章　香粧品用原料	香粧品の対象となる人体各部の性状
11 ～ 12	2	水性原料・油性原料	水・エタノール・油脂・ロウ類・炭化水素・その他の油性原料・油性原料の機能
13 ～ 14	2	界面活性剤・高分子化合物	界面活性剤・高分子化合物の基本的性質・種類・香粧品への応用
15 ～ 16	2	色材・香料	色材と香粧品・無機顔料・有機合成色素・香料と香粧品・香料の種類
17 ～ 18	2	その他の配合成分・ﾈｲﾙ、まつｴｸ材料	香粧品原料の品質保持配合成分等と与える機能・合成樹脂・接着剤・塗料
19 ～ 20	2	第3章　基礎香粧品	皮膚洗浄用香粧品・化粧水
21 ～ 22	2	クリーム・乳液・他の基礎香粧品	クリーム、乳液の皮膚への作用・種類と機能・ｼｪｰﾋﾞﾝｸﾞ用香粧品など
23 ～ 24	2	学習のまとめ①	香粧品概論（第1章）
25 ～ 26	2	学習のまとめ②	香粧品用原料（第2章）
27 ～ 28	2	学習のまとめ③	基礎香粧品（第3章）
29 ～ 29	1	中間試験	マーク式・筆記試験
30 ～ 31	2	第4章　メイクアップ用香粧品	ﾒｲｸｱｯﾌﾟ用香粧品の種類と剤形・ベースメイクアップ香粧品
32 ～ 33	2	ポイントメイクアップ香粧品	紅類・アイメイクアップ香粧品・ネイル技術用香粧品類

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
34 ～ 35	2	第5章 頭皮・毛髪用香粧品	シャンプー剤・スタイリング剤
36 ～ 37	2	パーマ剤	パーマの原理・パーマ剤の分類・パーマ剤第一剤・第二剤
38 ～ 39	2	ヘアカラー製品	ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム・使用上の注意
40 ～ 41	2	育毛剤	脱毛の原因・育毛、養毛剤の原料
42 ～ 43	2	第6章 芳香製品	芳香製品（香水・オーデコロン・その他）・使用上の注意
44 ～ 45	2	特殊香粧品	サンケア製品・美白用香粧品・制汗、防臭剤・ニキビ用
46 ～ 47	2	香粧品化学の為の基礎科学①	物質の構成・構造・溶解とコロイド・イオンと水素イオン指数（pH）
48 ～ 49	2	香粧品化学の為の基礎科学②	物質の変化と化学反応・酸化、還元反応・タンパク質
50 ～ 51	2	学習のまとめ④	メイクアップ用香粧品（第4章）
52 ～ 53	2	学習のまとめ⑤	頭皮・毛髪用香粧品（第5章）
54 ～ 55	2	学習のまとめ⑥	芳香製品と特殊香粧品（第6章）
56 ～ 57	2	学習のまとめ⑦	香粧品化学を理解するための基礎化学（付録）
58 ～ 59	2	国家試験対策授業	国家試験対策 ワークブック使用
60 ～ 61	2		国家試験対策 ワークブック使用
62 ～ 64	3		国家試験対策 模擬筆記試験
65 ～ 66	2		模擬筆記試験 解説と復習
67 ～ 67	1	卒業試験 筆記	卒業試験

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	文化論	科目区分	必須	授業形態	講義
対象学年	1年生 通年	担当教員	池田・福山	単位 時間数	67
到達目標	国家試験合格	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	人間美の創造、芸術的な表現力と観賞力を養う実現が理容師、美容師にとって重要であり、更なる美的感覚と理容、美容の歴史について学ぶ				
授業内容	日本における理容業、美容業の歴史を発生から江戸時代、近代、現代と時代を追って学び（第2章）、ファッション文化史においても日本文化（第3章）と西洋文化（第4章）より古代から中世、近世、近代、現代へと順を追って学んでいく				
テキスト 教材等	教材：公益社団法人 日本理容美容教育センター 文化論				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	第1章 総論	理容、美容の語義・現代社会・文化史の中の理容、美容・造形要素等
3 ～ 4	2	第2章 日本の理容業・美容業の歴史①	理容業、美容業の発生・江戸時代の理容業、美容業
5 ～ 6	2	日本の理容業・美容業の歴史②	近代の理容業、美容業・現代の理容業、美容業
7 ～ 8	2	第3章 ファッション文化史（日本）①	縄文、弥生、古墳時代・古代（飛鳥、奈良、平安時代）
9 ～ 10	2	ファッション文化史（日本）②	中世（平安末、鎌倉、室町、戦国時代）・近世Ⅰ（戦国末、安土桃山時代）
11 ～ 12	2	ファッション文化史（日本）③	近世Ⅱ（江戸時代）
13 ～ 14	2	ファッション文化史（日本）④	近代（明治、大正、昭和20年まで）
15 ～ 16	2	ファッション文化史（日本）⑤	現代Ⅰ（1945年～1950年代）
17 ～ 18	2	ファッション文化史（日本）⑥	現代Ⅱ（1960年～1970年代）
19 ～ 20	2	ファッション文化史（日本）⑦	現代Ⅲ（1980年～1990年代）・現代Ⅳ（2000年代以降）
21 ～ 22	2	学習のまとめ①	総論（第1章）
23 ～ 24	2	学習のまとめ②	日本の理容業・美容業の歴史（第2章）
25 ～ 26	2	学習のまとめ③	ファッション文化史（日本）（第3章）
27 ～ 27	1	中間試験	マーク式・筆記試験
28 ～ 29	2	第4章 ファッション文化史（西洋）①	古代エジプト・古代ギリシャ、ローマ
30 ～ 31	2	ファッション文化史（西洋）②	古代ゲルマン・中世ヨーロッパ
32 ～ 33	2	ファッション文化史（西洋）③	近世Ⅰ（16世紀）・近世Ⅱ（17世紀）

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
34 ～ 35	2	ファッション文化史（西洋）④	近世Ⅲ（18世紀）・近代Ⅰ（18世紀末～19世紀初め）
36 ～ 37	2	ファッション文化史（西洋）⑤	近代Ⅱ（19世紀）・現代Ⅰ（1910年～1920年代）
38 ～ 39	2	ファッション文化史（西洋）⑥	現代Ⅱ（1930年～1940年代前半）・現代Ⅲ（1940年～1950年代）
40 ～ 41	2	ファッション文化史（西洋）⑦	現代Ⅳ（1960年代）・現代Ⅴ（1970年代）
42 ～ 43	2	ファッション文化史（西洋）⑧	現代Ⅵ（1980年代）・現代Ⅶ（1990年代～2010年）
44 ～ 45	2	第5章 礼装の種類	和装礼装・洋装礼装
46 ～ 47	2	学習のまとめ④	ファッション文化史（西洋）（第4章）
48 ～ 49	2	学習のまとめ⑤	礼装の種類（第5章）
50 ～ 51	2	国家試験対策授業	国家試験対策 ワークブック使用
52 ～ 53	2		国家試験対策 ワークブック使用
54 ～ 55	2		国家試験対策 模擬筆記試験①
56 ～ 57	2		模擬筆記試験① 解説と復習
58 ～ 59	2		国家試験対策 ワークブック使用
60 ～ 61	2		国家試験対策 ワークブック使用
62 ～ 64	3		国家試験対策 模擬筆記試験②
65 ～ 66	2		模擬筆記試験② 解説と復習
67 ～ 67	1	卒業試験 筆記	卒業試験

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	運営管理	科目区分	必須	授業形態	講義
対象学年	1年生 通年	担当教員	石井	単位 時間数	34
到達目標	国家試験合格	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	理容師・美容師としてスタートするために必要な知識、働いていく上での知識、自分で店を持つための知識等を学んでいく。その際に経営管理及び労務管理の基本的事項を学習していくことによって理容業における運営管理の重要性を認識させ、今後の理容所の運営に役立たせる。				
授業内容	卒業後社会へ出て、理容・美容業においてのビジネスを展開していく上で必要になっていく接客や経営的視点からみた経営戦略やマーケティング、店舗運営に必要な経営管理、労務管理また、理美容業界特有の健康に関する管理知識を身に付けていく				
テキスト 教材等	教材：公益社団法人 日本理容美容教育センター 運営管理				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	オリエンテーション・第1編 接客	授業の進め方と仕事をすること等の心構えについて
3 ～ 4	2	第1編 接客 ①	第2章 接客の役割と基本
5 ～ 6	2	第1編 接客 ②	第3章 接客の計画・実践
7 ～ 8	2	第1編 接客 ③	第4章 接客の場で起こる問題
9 ～ 10	2	第2編 経営戦略・ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ ①	第1章 経営戦略（第1節～第8節）
11 ～ 12	2	第2編 経営戦略・ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ ②	第2章 マーケティング（第1節～第7節）
13 ～ 14	2	第2編 経営戦略・ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ ②	第2章 マーケティング（第8節～第16節）
15 ～ 16	2	第3編 経営管理 ①	第1章 経営者の視点（第1節～第5節）
17 ～ 18	2	第3編 経営管理 ②	第2章 資金管理（第1節～第6節）
19 ～ 19	1	中間試験 筆記	中間試験
20 ～ 21	2	第4編 労務管理 ①	第1章 労務管理とは（第1節～第7節）
22 ～ 23	2	第4編 労務管理 ②	第2章 働くあなたの姿（第1節～第4節）
24 ～ 25	2	第5編 健康管理 ①	第1章 健康管理の意義（第1節～第10節）
26 ～ 27	2	第5編 健康管理 ②	第2章 理容師・美容師に多い健康上の問題（第1節～第6節）
28 ～ 29	2	国家試験対策	国家試験対策 ワークブック使用
30 ～ 31	2		国家試験対策 模擬筆記試験①
32 ～ 33	2		国家試験対策 模擬筆記試験②

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	美容技術理論	科目区分	必須	授業形態	講義・実習
対象学年	1・2年生 通年	担当教員	町・本多・津田・福山・松永・網屋 実務経験　有（美容師）	単位 時間数	167
到達目標	国家試験合格	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	美容技術は美容師法で定められた業務を免許取得した美容師が行う技術である。美容の技術は時代と共に複雑化し正確な施術を行わないと危険を伴うこともある。技術習得には時間がかかるが、美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得を目指す。				
授業内容	美容技術を習得するための高い目標を持ち、美容の基礎技術を理論的に理解し、頭で理解したことを意識的に体で行い、意識的にやったことを無意識にできるようにする過程を美容実習に繋げていく				
テキスト 教材等	教材：公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論① ・ 美容技術理論②				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	オリエンテーション	美容技術理論を学ぶにあたって・美容技術について
3 ～ 4	2	第1章 美容用具	美容技術と用具・コーム、ブラシ、シザース、レザーの種類と扱い方
5 ～ 6	2		ヘアアイロン、ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、遠赤外線機などの扱い方
7 ～ 8	2		
9 ～ 10	2	第2章 シャンプーイング	シャンプーイング総論（バック・サイドシャンプー）
11 ～ 12	2		リンス、コンディショナー、トリートメント
13 ～ 14	2		スキャルプトリートメント、ヘッドスパ
15 ～ 16	2	第3章 ヘアデザイン	美容とデザイン
17 ～ 18	2		
19 ～ 20	2	第4章 ヘアカッティング	ヘアカッティングとは・シザーとレザーの扱い方
21 ～ 22	2		美容刃物・ヘアカッティングの正しい姿勢
23 ～ 24	2		ブロッキング
25 ～ 26	2		ヘアカッティングの基礎理論
27 ～ 28	2		ベーシックなカット技法
29 ～ 30	2		シザーズによるカット技法
31 ～ 32	2		レザーによるカット技法
33 ～ 35	3	第1章～第4章 復　習	シャンプーイング・ヘアデザイン・ヘアカッティング　総合 復習
36 ～ 38	3		

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
39 ～ 40	2	第5章 パーマネントウェービング	パーマネントウェービングの歴史と現在
41 ～ 42	2		パーマネントウェービング理論
43 ～ 44	2		パーマネントウェービング技術
45 ～ 46	2	第6章 ヘアセッティング	ヘアセッティングとは
47 ～ 48	2		ヘアパーティング・ヘアウェービング
49 ～ 50	2		フィンガーウェーブの基礎技術
51 ～ 52	2		クロッキノールカール技術
53 ～ 54	2		オールウェーブ構成
55 ～ 56	2		スカルプチュアカール技術
57 ～ 58	2		リフトカール技術
59 ～ 60	2		メイポールカール技術
61 ～ 62	2	第7章 ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概論
63 ～ 64	2		ヘアカラーの種類・タイプ別特徴
65 ～ 66	2		染毛のメカニズム・色の基本
67 ～ 68	2		ヘアカラーリングの注意事項・パッチテスト
69 ～ 70	2		毛髪のアンダートーンとレベルについて
71 ～ 72	2		酸化染毛剤の技術手順
73 ～ 75	3	第5章～第7章 復　習	パーマネントウェービング・ヘアセッティング ヘアカラーリング　総合 復習
76 ～ 78	3		
79 ～ 81	3		
82 ～ 83	2	学期末試験 筆記	1年次 学期末試験
84 ～ 85	2	第8章 エステティック	エステティック概論・マッサージ理論
86 ～ 87	2		フェイシャルケア技術
88 ～ 89	2		ボディケア技術
90 ～ 91	2	第9章 ネイル技術	ネイル技術概論・技術と種類
92 ～ 93	2		爪の構造・カット形状
94 ～ 95	2		カウンセリング・ネイル技術と公衆衛生
96 ～ 97	2		ネオルケア・アーティフィシャルネイル
98 ～ 99	2	第10章 メイクアップ	メイクアップ概論・顔の形態学的観察
100 ～ 101	2		メイクアップの色彩・皮膚の生理学構造・メイクアップ道具
102 ～ 103	2		メイクアップの基本施術・まつ毛エクステンション

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
104 ～ 105	2	第11章 日本髪	日本髪の由来・種類と特徴
106 ～ 107	2		日本髪の結髪技術・装飾・調和・かつら
108 ～ 109	2	第12章 着付け	着付けの目的・礼装・種類
110 ～ 111	2		着付けの技術
112 ～ 114	3	第8章～第12章 復　習	エステティック・ネイル技術・メイクアップ・日本髪・着付け 総合 復習
115 ～ 117	3		
118 ～ 120	3		
121 ～ 123	3	国家試験対策授業	国家試験対策 ワークブック使用①
124 ～ 126	3		国家試験対策 ワークブック使用②
127 ～ 129	3		国家試験対策 ワークブック使用③
130 ～ 132	3		国家試験対策 模擬筆記試験①
133 ～ 135	3		国家試験対策 模擬筆記試験②
136 ～ 138	3		国家試験対策 模擬筆記試験③
139 ～ 141	3		国家試験対策 模擬筆記試験④
142 ～ 145	4		国家試験対策 模擬国家試験①
146 ～ 149	4		国家試験対策 模擬国家試験②
150 ～ 153	4		国家試験対策 模擬国家試験③
154 ～ 157	4		国家試験対策 模擬国家試験④
158 ～ 161	4		国家試験対策 模擬国家試験⑤
162 ～ 165	4		国家試験対策 模擬国家試験⑥
166 ～ 167	2	卒業試験 筆記	卒業試験

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	美容実習	科目区分	必須	授業形態	実習
対象学年	1･2年生 通年	担当教員	町･本多･津田･福山･松永･網屋 実務経験　有（美容師）	単位 時間数	1,000
到達目標	国家試験合格	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	美容の技術を習得するよう基本的操作を確実に身に付け更にその基本操作を適宜組み合わせて完成させる技術を身に付ける事で、美容の業務を安全に且つ効果的に実施する技術を習得する。 お客様の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術を身に付ける				
授業内容	美容に関する基礎的な理論と知識を美容技術理論で学び、その学修状況と実習との相互的連携を図り、学業での最終目標である国家試験合格に向けて進めていく。また、サロンにおける衛生管理の重要性を認識し適切な実施方法を身に付ける。				
テキスト 教材等	教材：公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容実習① ・ 美容実習②				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目		内　容
1 ～ 3	3	オリエンテーション		美容技術の教育カリキュラムの説明及び諸注意事項
4 ～ 6	3			美容における頭部の区分と名称
7 ～ 9	3	美容用具		美容用具の確認と名称
10 ～ 12	3			美容用具の取り扱い方
13 ～ 15	3	基礎技術	ヘアカッティング	基本姿勢とカット用具の持ち方と操作
16 ～ 18	3			シザーの開閉練習
19 ～ 21	3			ワンレングスカットの運行と実践
22 ～ 24	3			グラデーションカットの運行と実践
25 ～ 27	3			レイヤーカットの運行と実践
28 ～ 30	3			セイムレングスカットの運行と実践
31 ～ 33	3			レザーカットの運行と実践
34 ～ 36	3	基礎技術	パーマネントウェービング（ワインディング）	ブロッキングの展示･実践
37 ～ 39	3			ワインディング（スライス･コーミング）の展示･実践
40 ～ 42	3			ワインディング（上巻き･下巻き）の展示･実践
43 ～ 45	3			ワインディング（センター･バック･フロントサイド）の展示･実践
46 ～ 48	3	基礎技術	ヘアセッティング	ヘアカーリングの展示･実践
49 ～ 51	3			ヘアウェービングの展示･実践
52 ～ 54	3			ローラーカーイングの展示･実践
55 ～ 57	3			ブロードライスタイリングの展示･実践
58 ～ 60	3			アイロンセッティングの展示･実践
61 ～ 63	3			アップスタイルの展示･実践
64 ～ 66	3	基礎技術	シャンプーイング	クロス掛け･ブラッシング･サイドシャンプー
67 ～ 69	3			バックシャンプー　･トリートメント

授業計画				
授業コマ数		項　目		内　容
70 ～ 72	3	基礎技術	ヘアカラーリング	酸化染毛剤の展示
73 ～ 75	3			酸性染毛剤の展示
76 ～ 78	3			塗布技術の実践
79 ～ 84	6	ワインディング①		ワインディング基礎技術の復習
85 ～ 87	3			全頭 50分（ブロッキング 5分）
88 ～ 90	3			
91 ～ 93	3			
94 ～ 96	3			全頭 45分（ブロッキング 5分）
97 ～ 99	3			
100 ～ 102	3			
103 ～ 105	3			全頭 40分（ブロッキング 5分）
106 ～ 108	3			
109 ～ 111	3			
112 ～ 114	3			
115 ～ 117	3			レベルチェック 全頭 40分（ブロッキング 5分）
118 ～ 120	3			
121 ～ 123	3			
124 ～ 126	3	ワインディング②		全頭 35分（ブロッキング 4分）
127 ～ 129	3			
130 ～ 132	3			
133 ～ 135	3			全頭 30分（ブロッキング 4分）
136 ～ 138	3			
139 ～ 141	3			
142 ～ 144	3			全頭 20分（ブロッキング 3分）
145 ～ 147	3			
148 ～ 150	3			
151 ～ 153	3			レベルチェック 全頭 20分（ブロッキング 3分）
154 ～ 156	3			
157 ～ 159	3			
160 ～ 162	3			全頭 20分（ブロッキング 3分） 確認・技術の復習
163 ～ 165	3			
166 ～ 168	3			
169 ～ 171	3	シャンプーイング 指圧マッサージ		指圧マッサージ 基礎理論・技術の展示・実践
172 ～ 174	3			技術の実践
175 ～ 177	3			シャンプーイング～指圧マッサージ 一連実践
178 ～ 180	3			
181 ～ 183	3			
184 ～ 186	3	期末試験		期末試験（全頭 30分（ブロッキング 3分）
187 ～ 189	3			期末試験（シャンプーイング～指圧マッサージ）
190 ～ 192	3			期末試験 修正と復習
193 ～ 195	3			

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
196 ～ 201	6	オールウェーブ①	オールウェーブ 基礎技術の復習
202 ～ 204	3		ピンカール技術 展示・実践
205 ～ 207	3		構成の確認
208 ～ 210	3		オールウェーブ セッティング 40分
211 ～ 213	3		
214 ～ 216	3		ウェーブ・ピンカール技術の確認
217 ～ 219	3		サイドからの施術手順 展示・実践
220 ～ 222	3		オールウェーブ セッティング 35分
223 ～ 225	3		
226 ～ 228	3		オールウェーブ セッティング 30分
229 ～ 231	3		
232 ～ 234	3		レベルチェック （オールウェーブ セッティング 30分）
235 ～ 237	3		
238 ～ 240	3	オールウェーブ②	オールウェーブ セッティング 30分
241 ～ 243	3		
244 ～ 246	3		オールウェーブ セッティング 25分
247 ～ 249	3		
250 ～ 252	3		
253 ～ 255	3		
256 ～ 258	3		オールウェーブ セッティング 25分 確認・技術の復習
259 ～ 261	3		
262 ～ 264	3		
265 ～ 267	3	ヘアカッティング①	カッティング構成と技術
268 ～ 270	3		セクション別によるプロセスの説明
271 ～ 273	3		ブロッキング実践
274 ～ 276	3		
277 ～ 279	3		カット実践（フロント・サイド）
280 ～ 282	3		
283 ～ 285	3		カット実践（ネープ・バック）
286 ～ 288	3		
289 ～ 291	3		仕上げ・全頭復習
292 ～ 294	3		
295 ～ 297	3	ヘアカッティング②	全頭 30分
298 ～ 300	3		
301 ～ 303	3		
304 ～ 306	3		全頭 25分
307 ～ 309	3		
310 ～ 312	3		
313 ～ 315	3		全頭 20分
316 ～ 318	3		
319 ～ 321	3		

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
322 ～ 324	3	ヘアカッティング②	レベルチェック（全頭 20分）
325 ～ 327	3		
328 ～ 330	3		全頭 20分 確認・技術の復習
331 ～ 333	3		
334 ～ 336	3	エステティック	エステティックの基礎知識
337 ～ 339	3		
340 ～ 342	3		フェイシャルケア技術
343 ～ 345	3		
346 ～ 348	3		ボディケア技術
349 ～ 351	3		
352 ～ 354	3	ネイル技術	ネイルケアの基礎知識と技術
355 ～ 357	3		ネイルケア実践
358 ～ 360	3		
361 ～ 363	3		
364 ～ 366	3		ネイルケアカラーリング・ハンドマッサージ
367 ～ 369	3		
370 ～ 372	3	メイクアップ	メイクアップの基礎知識・技術
373 ～ 375	3		スキンケアとフェイス 実践
376 ～ 378	3		ベースメイクアップ 実践
379 ～ 381	3		
382 ～ 384	3		ポイントメイクアップ 実践
385 ～ 387	3		
388 ～ 390	3		トータルメイクアップ 実践
391 ～ 393	3		
394 ～ 396	3	着付け技術	留袖着付けの技術
397 ～ 399	3		振袖着付けの技術
400 ～ 402	3		男子礼装羽織・袴着付けの技術
403 ～ 405	3		女子袴着付けの技術
406 ～ 408	3	ワインディング	ワインディング（全頭 30分（ブロッキング 3分））
409 ～ 411	3		
412 ～ 414	3	オールウェーブ	オールウェーブ（セッティング 25分）
415 ～ 417	3		
418 ～ 420	3	ヘアカッティング	ヘアカッティング（全頭 20分）
421 ～ 423	3		
424 ～ 426	3	総復習	1年間の総復習
427 ～ 429	3	学期末試験	学期末試験（ワインディング 20分）
430 ～ 432	3		学期末試験（オールウェーブ 25分）
433 ～ 435	3		学期末試験（ヘアカッティング 20分）
436 ～ 438	3		学期末試験（エステ・ネイル・メイクの基礎）
439 ～ 444	6		学期末試験 修正と復習（ワインディング・オールウェーブ・カット）
445 ～ 450	6		学期末試験 修正と復習（エステ・ネイル・メイク・着付け）

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
451 ～ 453	3	ワインディング 実習	全頭 30分（ブロッキング 4分）
454 ～ 456	3		
457 ～ 459	3		
460 ～ 462	3		全頭 25分（ブロッキング 4分）
463 ～ 465	3		
466 ～ 468	3		
469 ～ 471	3		全頭 20分（ブロッキング 3分）
472 ～ 474	3		
475 ～ 477	3		
478 ～ 480	3		レベルチェック 全頭 20分（ブロッキング 3分）
481 ～ 483	3		
484 ～ 486	3		
487 ～ 489	3		全頭 20分（ブロッキング 3分） 確認・技術の復習
490 ～ 492	3		
493 ～ 495	3		
496 ～ 498	3	エステティック 実習	フェイシャルケア技術
499 ～ 501	3		
502 ～ 504	3		ボディケア技術
505 ～ 507	3		
508 ～ 510	3	オールウェーブ 実習	オールウェーブ セッティング 30分
511 ～ 513	3		
514 ～ 516	3		オールウェーブ セッティング 25分
517 ～ 519	3		
520 ～ 522	3		
523 ～ 525	3		
526 ～ 528	3		オールウェーブ セッティング 25分 確認・技術の復習
529 ～ 531	3		
532 ～ 534	3		
535 ～ 537	3	ネイル技術 実習	ネイルケア実践
538 ～ 540	3		
541 ～ 543	3		
544 ～ 546	3	ヘアカッティング 実習	全頭 30分
547 ～ 549	3		
550 ～ 552	3		
553 ～ 555	3		全頭 25分
556 ～ 558	3		
559 ～ 561	3		
562 ～ 564	3		全頭 20分
565 ～ 567	3		
568 ～ 570	3		
571 ～ 573	3		

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
574 ～ 576	3	メイクアップ 実習	スキンケアとフェイス 実践
577 ～ 579	3		
580 ～ 582	3		ベースメイクアップ 実践
583 ～ 585	3		
586 ～ 588	3		ポイントメイクアップ 実践
589 ～ 591	3		
592 ～ 594	3		トータルメイクアップ 実践
595 ～ 597	3		
598 ～ 600	3	ワインディング 実習	全頭 20分 （ブロッキング 3分） 確認・技術の復習
601 ～ 603	3		
604 ～ 606	3		
607 ～ 609	3		
610 ～ 612	3		
613 ～ 615	3		
616 ～ 618	3		
619 ～ 621	3		
622 ～ 624	3	オールウェーブ 実習	オールウェーブ セッティング 25分 確認・技術の復習
625 ～ 627	3		
628 ～ 630	3		
631 ～ 633	3		
634 ～ 636	3		
637 ～ 639	3		
640 ～ 642	3		
643 ～ 645	3		
646 ～ 648	3	ヘアカッティング 実習	ヘアカッティング 20分 確認・技術の復習
649 ～ 651	3		
652 ～ 654	3		
655 ～ 657	3		
658 ～ 660	3		
661 ～ 663	3		
664 ～ 666	3		
667 ～ 669	3		
670 ～ 672	3		
673 ～ 675	3		
676 ～ 677	2	期末試験	期末試験（ミディアムカット 20分）
678 ～ 679	2		期末試験（ミディアムカット・セニング・セット 30分）
680 ～ 681	2		期末試験（ワインディング 全頭 30分）
682 ～ 683	2		期末試験（クラシカルバックのセット 30分）
684 ～ 688	5		期末試験 修正と復習 （ミディアムカット・セニング・セット・ワインディング・クラシカルバック）
689 ～ 693	5		
694 ～ 696	3		

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
697 ～ 699	3	国家試験課題 実践指導 ワインディング セッティング	構成とプロセス説明
700 ～ 702	3		巻き方（上巻き、下巻き） 展示・実践
703 ～ 705	3		
706 ～ 708	3		角度による収め方をセクション別に展示・実践
709 ～ 711	3		
712 ～ 714	3		
715 ～ 717	3		ワインディング （全頭 20分）
718 ～ 720	3		
721 ～ 723	3		
724 ～ 726	3		
727 ～ 729	3		全頭 20分 （ブロッキング 3分） 確認・技術の復習
730 ～ 732	3		
733 ～ 735	3		
736 ～ 738	3	国家試験課題 実践指導 オールウェーブ セッティング	ピンカール技術 展示・実践
739 ～ 741	3		構成の確認
742 ～ 744	3		オールウェーブ セッティング 30分
745 ～ 747	3		
748 ～ 750	3		
751 ～ 753	3		
754 ～ 756	3		ウェーブ・ピンカール技術の確認
757 ～ 759	3		レベルチェック （オールウェーブ 30分）
760 ～ 762	3		サイドからの施術手順 展示・実践
763 ～ 765	3		オールウェーブ技術復習
766 ～ 768	3		
769 ～ 771	3		
772 ～ 774	3		オールウェーブ セッティング 25分
775 ～ 777	3		
778 ～ 780	3		
781 ～ 783	3		
784 ～ 786	3		
787 ～ 789	3		
790 ～ 792	3		
793 ～ 795	3		
796 ～ 798	3	国家試験課題 実践指導 ヘアカッティング	カッティング構成と技術
799 ～ 801	3		セクション別によるプロセスの説明
802 ～ 804	3		ブロッキング実践
805 ～ 807	3		カット実践（フロント・サイド）
808 ～ 810	3		カット実践（ネープ・バック）
811 ～ 813	3		仕上げ・全頭復習
814 ～ 816	3		
817 ～ 819	3		

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
820 ～ 822	3	国家試験課題 実践指導 ヘアカッティング	ヘアカッティング（全頭 30分）
823 ～ 825	3		
826 ～ 828	3		ヘアカッティング（全頭 25分）
829 ～ 831	3		
832 ～ 834	3		ヘアカッティング（全頭 20分）
835 ～ 837	3		
838 ～ 840	3		レベルチェック（全頭 20分）
841 ～ 843	3		
844 ～ 846	3	国家試験課題	全課題のチェック①
847 ～ 849	3		全課題のチェック②
850 ～ 852	3		全課題のチェック③
853 ～ 855	3	国家試験課題 実践指導	ワインディング 全頭 20分（ブロッキング 3分）
856 ～ 858	3		
859 ～ 861	3		
862 ～ 864	3		オールウェーブ セッティング 25分
865 ～ 867	3		
868 ～ 870	3		
871 ～ 873	3		ヘアカッティング（全頭 20分）
874 ～ 876	3		
877 ～ 879	3		
880 ～ 882	3		国家試験課題の見直し
883 ～ 885	3		
886 ～ 888	3		
889 ～ 891	3		
892 ～ 894	3	国家試験 流し練習 （シュミレーション）	（全65分） ワインディング 20分 オールウェーブ 25分 ヘアカッティング 20分
895 ～ 897	3		
898 ～ 900	3		
901 ～ 903	3		
904 ～ 906	3		
907 ～ 909	3		
910 ～ 912	3		
913 ～ 915	3		
916 ～ 918	3		
919 ～ 921	3		
922 ～ 924	3		
925 ～ 927	3		
928 ～ 930	3		
931 ～ 933	3		
934 ～ 936	3		
937 ～ 939	3		
940 ～ 942	3		

<table>
<tr><th colspan="4">授業計画</th></tr>
<tr><th colspan="2">授業コマ数</th><th>項　目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>943 ～ 945</td><td>3</td><td rowspan="12">国家試験 流し練習
(シュミレーション)</td><td rowspan="12">(全65分)
ワインディング 20分
オールウェーブ 25分
ヘアカッティング 20分</td></tr>
<tr><td>946 ～ 948</td><td>3</td></tr>
<tr><td>949 ～ 951</td><td>3</td></tr>
<tr><td>952 ～ 954</td><td>3</td></tr>
<tr><td>955 ～ 957</td><td>3</td></tr>
<tr><td>958 ～ 960</td><td>3</td></tr>
<tr><td>961 ～ 963</td><td>3</td></tr>
<tr><td>964 ～ 966</td><td>3</td></tr>
<tr><td>967 ～ 969</td><td>3</td></tr>
<tr><td>970 ～ 972</td><td>3</td></tr>
<tr><td>973 ～ 975</td><td>3</td></tr>
<tr><td>976 ～ 978</td><td>3</td></tr>
<tr><td>979 ～ 981</td><td>3</td><td rowspan="3">学期末試験</td><td rowspan="3">(全65分)
ワインディング 20分
オールウェーブ 25分
ヘアカッティング 20分</td></tr>
<tr><td>982 ～ 984</td><td>3</td></tr>
<tr><td>985 ～ 987</td><td>3</td></tr>
<tr><td>988 ～ 990</td><td>3</td><td rowspan="4">国家試験 実践</td><td rowspan="4">(全65分)
ワインディング 20分
オールウェーブ 25分
ヘアカッティング 20分
国家試験に関する注意点と準備・確認</td></tr>
<tr><td>991 ～ 993</td><td>3</td></tr>
<tr><td>994 ～ 996</td><td>3</td></tr>
<tr><td>997 ～ 1000</td><td>4</td></tr>
</table>

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	カラー技術	科目区分	選択	授業形態	講義・実習
対象学年	1・2年生 通年	担当教員	町・本多・津田・福山・松永・網屋 実務経験　有（美容師）	単位 時間数	80
到達目標	実技修得	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	ヘアカラーリングは、ヘアスタイルの表現の多様化を図ると共に、容姿・服装・ライフスタイルに調和した美を表現することを目的とし、その人の個性に合う色を診断したりカラー診断に必要な理論を学び、実技で実際にカラー診断を行いファッションやメイクのアドバイスができるように修得する。				
授業内容	ヘアカラーリング技術の基本的なプロセスを学び、雑誌等のモデルをチョイスしながら色々な個性に合ったカラー配色を独自で創造し、実際に塗布の実践も行っていく				
テキスト 教材等	教材：公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容技術理論①・理容実習①・ヘアカラーリング用具				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	ヘアカラーとは	カラーの重要性・ヘアカラーリングの歴史
3 ～ 4	2		2種類の肌選別（クール・ウォーム）
5 ～ 6	2	カラー診断の基準	ドレープ・スウォッチの説明・カルテ書き方・プレゼン説明
7 ～ 8	2	主観色の見分け方	主観色をチェックし今までのチェックから仮の診断書作成・アドバイス方法
9 ～ 10	2	ヘアカラー理論	色彩の原理
11 ～ 12	2		染毛剤の種類と原理
13 ～ 14	2		染毛剤の安全性と取扱い上の注意
15 ～ 16	2		ヘアカラーリング技術のプロセス
17 ～ 18	2		ヘアカラーリングの種類とその他の技法
19 ～ 20	2	中間試験	中間試験　筆記
21 ～ 22	2	アルカリカラーの技術手順	毛髪診断
23 ～ 24	2		毛髪による色の出方の違い
25 ～ 26	2		色の選定
27 ～ 28	2		
29 ～ 30	2		プロテクトとブロッキング
31 ～ 32	2		染毛剤の調合
33 ～ 34	2		カラーチェック

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
35 ～ 36	2	アルカリカラーの技術手順	乳化
37 ～ 38	2		シャンプー・コンディショナー・トリートメント
39 ～ 40	2	ヘアブリーチ	ブリーチテクニックのポイント・ブロッキングの一例
41 ～ 42	2	期末試験	期末試験 実技・筆記
43 ～ 44	2	カラー実習①	基本塗布技術
45 ～ 46	2		リタッチテクニック
47 ～ 48	2		ダブルプロセステクニック
49 ～ 50	2		ワンタッチ塗布
51 ～ 52	2		リタッチ30分全頭
53 ～ 54	2		ダブルプロセス全頭40分
55 ～ 56	2		
57 ～ 58	2		ワンタッチ35分
59 ～ 60	2		人間トレーニング・クリーム塗布 練習
61 ～ 62	2		人間アルカリカラー塗布 相モデル実践・練習
63 ～ 64	2	中間試験	人間アルカリカラー塗布 相モデル実践
65 ～ 66	2	カラー実習②	毛先ブリーチ塗布
67 ～ 68	2		おしゃれ染め 中間、根元塗り（トリートメント使用）
69 ～ 70	2		白髪染め 根元塗り（トリートメント使用）
71 ～ 72	2		おしゃれ染め 中間、根元塗り（カラー剤使用）
73 ～ 74	2		ホイルワーク（ウィービング）
75 ～ 76	2		疑似施術 相モデル（トレーニングクリーム使用）
77 ～ 78	2		
79 ～ 81	3	卒業試験	疑似施術 相モデル（カラー剤使用）

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	パーマ技術	科目区分	選択	授業形態	講義・実習
対象学年	1・2年生 通年	担当教員	町・本多・津田・福山・松永・網屋 実務経験　有（美容師）	単位 時間数	80
到達目標	実技修得	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	お客様の希望するヘアスタイルを満足のいく状態で美しく安全に仕上げるために毛髪にウェーブやカールをあたえるパーマネントウェーブの基礎知識と施術をしっかり学び、障害を防止するためにはどのように施術をすればよいかも十分に理解する				
授業内容	パーマネントウェーブの基礎を着実に学び、多様なパーマヘアの応用技術への柔軟性を持たせる。また、パーマネントスタイルの応用技術の修得とヘアスタイリストとしての応用サロンワークの技術を学びながら学内外のコンテストにて上位入賞を目指す。				
テキスト 教材等	教材：公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容技術理論①・理容実習①／教材：ワインド一式・ワインド用ウィッグ				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	パーマ理論	パーマネントウェーブの考え方・歴史
3 ～ 4	2		パーマネントウェーブ用材の種類と特徴
5 ～ 6	2		パーマネントウェーブ技術のプロセス
7 ～ 8	2		パーマネントウェーブによる障害
9 ～ 10	2	ワインディング　講義	ワインディングの手順　講義
11 ～ 12	2		
13 ～ 14	2		
15 ～ 16	2		ワインディングの準備
17 ～ 18	2		
19 ～ 20	2	中間試験	中間試験　筆記
21 ～ 23	3	ワインディング　実技	アップシステム・ダウンシステムの巻き方　練習
24 ～ 26	3		
27 ～ 29	3		フロントの構成センター　練習
30 ～ 32	3		右バックサイドの構成　練習
33 ～ 35	3		左バックサイドの構成　練習
36 ～ 38	3		全頭きれい巻き
39 ～ 40	2	期末試験	期末試験　筆記・実技

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
41 ～ 42	2	ワインディング	ワインディング全頭 タイム60分
43 ～ 44	2		
45 ～ 46	2		
47 ～ 48	2		ワインディング全頭 タイム50分
49 ～ 50	2		
51 ～ 52	2		
53 ～ 54	2		ワインディング全頭 タイム40分
55 ～ 56	2		
57 ～ 58	2		
59 ～ 61	3	中間試験	ワインディング実践 全頭 タイム測定40分
62 ～ 63	2	ワインディング	ワインディング全頭 タイム35分
64 ～ 65	2		
66 ～ 67	2		
68 ～ 69	2		ワインディング全頭 タイム23分
70 ～ 71	2		
72 ～ 73	2		
74 ～ 75	2		ワインディング全頭 タイム20分
76 ～ 77	2		
78 ～ 80	3	卒業試験	ワインディング実践 全頭 タイム測定20分

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	シャンプー技術	科目区分	選択	授業形態	講義・実習
対象学年	1・2年生 通年	担当教員	町・本多・津田・福山・松永・網屋 実務経験　有（美容師）	単位 時間数	80
到達目標	実技修得	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	シャンプー技術は毛髪美容の基本であり、頭皮・毛髪の清潔を保つことが毛髪美の根本であることを認識し、シャンプー剤や技法について化学的理解を高めていく				
授業内容	シャンプーの実技、理論、表現方法の実践とそれらのノウハウを学習、練習することで、サロンワークの技術に結び付け応用していくこととする				
テキスト 教材等	教材：公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容技術理論②・理容実習②				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	シャンプー理論	シャンプーイングの目的
3 ～ 4	2		シャンプー剤の種類と特徴
5 ～ 6	2		シャンプーイングの方法
7 ～ 8	2		シャンプーイングの技法（スタンドシャンプー）
9 ～ 10	2		シャンプーイングの技法（バックシャンプー）
11 ～ 12	2		シャンプーイングの技法（リアシャンプー）
13 ～ 14	2		リンシング
15 ～ 16	2		シャンプーイングのデモンストレーション
17 ～ 18	2		シャンプー台の使い方など
19 ～ 20	2	中間試験	中間試験　筆記
21 ～ 23	3	シャンプー技術①	スタンドシャンプーの理論・デモ
24 ～ 26	3		
27 ～ 29	3		スタンドシャンプーの手技・手順の練習
30 ～ 32	3		
33 ～ 35	3		
36 ～ 38	3		
39 ～ 40	2	期末試験	期末試験　筆記・実技

授業計画			
授業コマ数		項　　目	内　　容
41 ～ 43	3	シャンプー技術②	バックシャンプーの理論・デモ
44 ～ 46	3		
47 ～ 49	3		バックシャンプーの手技・手順の練習
50 ～ 52	3		
53 ～ 55	3		
56 ～ 57	2	中間試験	中間試験　実技
58 ～ 60	3	シャンプー技術③	リアシャンプーの理論・デモ
61 ～ 63	3		
64 ～ 66	3		リアシャンプーの手技・手順の練習
67 ～ 69	3		
70 ～ 72	3		
73 ～ 75	3	シャンプー技術④	レセプションからフルシャンプー　実技
76 ～ 78	3		
79 ～ 80	2	卒業試験	レセプションからフルシャンプー　実技

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	ネイル総合	科目区分	選択	授業形態	講義・実習
対象学年	1年生 通年	担当教員	原田・渡辺 実務経験 有	単位 時間数	60
到達目標	実技修得 （ネイリスト技能検定3級取得）	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	ネイリスト技能検定3級合格を目標に、ネイルテクニックの基本であるネイルケアを学びます。「お客様の爪の健康を守る」ことがネイリストの使命であり、技術面とネイルに関する正しい基礎知識を修得していきます				
授業内容	ネイルに関する正しい基礎知識の習得と爪の構造と働き、皮膚科学、生理解剖学、爪の病気とトラブル、消毒法（衛生管理）などの幅広い分野の学術知識も習得していきます。また、ネイルアート等の技能検定3級合格に必要な技術を修得していきます				
テキスト 教材等	教材：NPO法人日本ネイリスト協会 JNAテクニカルシステムベーシック				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	基礎理論	ネイルの歴史・ネイル技術体系・爪の構造と働き
3 ～ 4	2		ネイルのための皮膚科学・生理解剖学
5 ～ 6	2		爪や皮膚の病気とトラブル・消毒法・トリートメント理論
7 ～ 8	2		化粧品化学・色彩理論・プロフェッショナリズム
9 ～ 10	2		ネイルカウンセリング・ネイルサロン環境・衛生基準と関連法規
11 ～ 12	2	ネイル技術①	基本的なセッティング・ネイルケアの用具・用材と目的
13 ～ 14	2		ネイルケアの用具・用材と目的
15 ～ 16	2		ネイルケアのステップ・手指消毒
17 ～ 18	2	ネイル技術②	ネイルケア実践
19 ～ 20	2		
21 ～ 22	2		
23 ～ 24	2		
25 ～ 26	2		
27 ～ 28	2		
29 ～ 30	2		
31 ～ 32	2		
33 ～ 34	2		

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
35 ～ 36	2	ネイル技術③	ハンドマッサージ 展示・実践
37 ～ 38	2		
39 ～ 40	2		ハンドマッサージ 復習
41 ～ 42	2		カラーリング 展示・実践
43 ～ 44	2		
45 ～ 46	2		カラーリング 復習
47 ～ 48	2		ネイルケア・カラーリング 展示・実践
49 ～ 50	2		
51 ～ 52	2		ネイルケア・カラーリング 復習
53 ～ 54	2	期末試験	期末試験 筆記・実技
55 ～ 56	2	ネイリスト技能検定3級対策 ジェルネイル技能検定初級対策	検定 通し練習
57 ～ 58	2		
59 ～ 60	2		

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	まつ毛エクステンション	科目区分	選択	授業形態	講義・実習
対象学年	1・2年生 通年	担当教員	本多 実務経験　有（美容師）	単位 時間数	60
到達目標	実技修得 （技能検定3級取得）	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	まつ毛エクステンションは、まつ毛に人工毛（人工まつ毛）を装着して目を美しく見せるメイク手法 人工まつ毛は眼球に近い繊細な部分に施術を行うため、知識不足によるトラブルも多く発生している為 しっかりとした基礎技術、理論を修得し、施術の目的を理解したうえで実践する能力を身に付ける				
授業内容	基礎をしっかりと理解をし、プロとしての高度な知識、技術をトータルに修得していくことを目指す				
テキスト 教材等	教材：松風 まつげエクステ技術者養成基礎講座				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	基礎理論	ネイルの歴史・ネイル技術体系・爪の構造と働き
3 ～ 4	2		ネイルのための皮膚科学・生理解剖学
5 ～ 6	2		爪や皮膚の病気とトラブル・消毒法・トリートメント理論
7 ～ 8	2		化粧品化学・色彩理論・プロフェッショナリズム
9 ～ 10	2		ネイルカウンセリング・ネイルサロン環境・衛生基準と関連法規
11 ～ 12	2	ネイル技術①	基本的なセッティング・ネイルケアの用具・用材と目的
13 ～ 14	2		ネイルケアの用具・用材と目的
15 ～ 16	2		ネイルケアのステップ・手指消毒
17 ～ 18	2	ネイル技術②	ネイルケア実践
19 ～ 20	2		
21 ～ 22	2		
23 ～ 24	2		
25 ～ 26	2		
27 ～ 28	2		
29 ～ 30	2		
31 ～ 32	2		
33 ～ 34	2		

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
35 ～ 36	2	ネイル技術③	ハンドマッサージ 展示・実践
37 ～ 38	2		
39 ～ 40	2		ハンドマッサージ 復習
41 ～ 42	2		カラーリング 展示・実践
43 ～ 44	2		
45 ～ 46	2		カラーリング 復習
47 ～ 48	2		ネイルケア・カラーリング 展示・実践
49 ～ 50	2		
51 ～ 52	2		ネイルケア・カラーリング 復習
53 ～ 54	2	期末試験	期末試験 筆記・実技
55 ～ 56	2	ネイリスト技能検定3級対策 ジェルネイル技能検定初級対策	検定 通し練習
57 ～ 58	2		
59 ～ 60	2		

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	エステ総合	科目区分	選択	授業形態	講義・実習
対象学年	1年生 通年	担当教員	日野 実務経験 有	単位 時間数	60
到達目標	実技修得 （ｴｽﾃﾃｨｯｸ認定資格取得）	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	エステティックに関する基礎知識とエステティックの本質を理解しエステティシャンとして社会で働くうえで基礎的な心遣いを学びます。また、エステティックに関わる法律とエステティック業界の統一自主基準について知り法令遵守の必要性を学び実践することによりお客様から信頼されるエステティシャンになることを目指します				
授業内容	エステティックの基礎をベースにプロとしてより高度な知識と技術をトータル的に学んでいきます				
テキスト 教材等	教材：一般社団法人 日本エステティック協会 理論と技術・				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	エステティック概論	エステティックの本質・歴史と現況
3 ～ 4	2		エステティックに関わる法律
5 ～ 6	2		身体の仕組みと働き①
7 ～ 8	2		身体の仕組みと働き②
9 ～ 10	2		皮膚の仕組みと働き①
11 ～ 12	2		皮膚の仕組みと働き②
13 ～ 14	2	エステティックカウンセリング	役割と顧客心理・接客マナー
15 ～ 16	2		カウンセリングの流れ
17 ～ 18	2	エステティックの基礎知識	エステティックにおける衛生と消毒
19 ～ 20	2		化粧品の種類と働き
21 ～ 22	2		栄養の知識
23 ～ 24	2		エステティックの事前準備・身体の使い方
25 ～ 26	2	フェイシャルケア技術	フェイシャルエステティックの目的と効果
27 ～ 28	2		フェイシャルエステティックの流れ・施術前に行うこと
29 ～ 31	3		フェイシャルエステティック　実践技術
32 ～ 34	3		
35 ～ 37	3		クライアントに合わせたプログラム　実践

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
38 ～ 39	2	ボディケア技術	ボディエステティックの目的と効果
40 ～ 41	2		ボディエステティックの流れ・施術前に行うこと
42 ～ 44	3		ボディエステティック 実践技術
45 ～ 47	3		
48 ～ 50	3		クライアントに合わせたプログラム 実践
51 ～ 52	2	期末試験	期末試験 筆記・実技
53 ～ 54	2	認定資格対策	検定試験対策 通し練習
55 ～ 56	2		
57 ～ 58	2		
59 ～ 60	2		

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	メイク	科目区分	選択	授業形態	講義・実習
対象学年	1年生 通年	担当教員	本多 実務経験　有（美容師）	単位 時間数	70
到達目標	実技修得 （日本ﾒｲｸｱｯﾌﾟ技術検定取得）	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	メイクアップの基礎技術から応用までを学び。創造性・表現方法等、ヘアメイクアーティストとしてのセンスを磨き女性の華やかさをメイクで際立たせ一生に一度の特別な日を共に作り上げるスペシャリストを目指す。				
授業内容	基礎化粧品の使い方から基礎的なメイクアップの手順と理論を学び、サロンでも通用するメイクアップの技術を習得する				
テキスト 教材等	教材：一般社団法人 日本メイクアップ技術検定協会 協会公式テキスト				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	メイクアップの基礎	メイクアップの効果・必要性と意義
3 ～ 4	2		メイクアップのツール・道具の手入れ
5 ～ 6	2		顔の成り立ちと肌のタイプとメカニズム
7 ～ 8	2		化粧品の定義・スキンケア・メイクアップの分類
9 ～ 10	2	スキンケアとフェイスマッサージ	クレンジング～フェイスマッサージ
11 ～ 12	2		
13 ～ 14	2	スキンケアとフェイスプロポーション	クレンジング～メイクアップベース　フェイスプロポーション
15 ～ 16	2		
17 ～ 18	2	ベースメイクアップ	クレンジング～メイクアップベース コントロールカラーとコンシーラー ファンデーション・フェイスパウダー
19 ～ 20	2		
21 ～ 22	2		
23 ～ 24	2		クレンジング～フェイスパウダー 23～24ハイライト・シャドウ
25 ～ 26	2		
27 ～ 28	2	ポイントメイクアップ	ベースメイクアップ～アイメイクアップ アイブロウ
29 ～ 30	2		
31 ～ 32	2		ベースメイクアップ～アイメイクアップ リップ・チーク・フィニッシング
33 ～ 34	2		

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
35 ～ 36	2	トータルメイクアップ	ポイントメイクアップのパターン①・トータルメイクアップ
37 ～ 38	2		
39 ～ 40	2		ポイントメイクアップのパターン②・トータルメイクアップ
41 ～ 42	2		
43 ～ 44	2		色彩とメイクアップ・トータルメイクアップ
45 ～ 46	2		
47 ～ 48	2	パーティーメイクアップ	イブニングドレスのメイクアップ
49 ～ 50	2		
51 ～ 52	2	和装のメイクアップ	振袖のメイクアップ
53 ～ 54	2		
55 ～ 56	2	複写メイクアップ	流行のメイクアップを複写する
57 ～ 58	2		
59 ～ 60	2	期末試験	トータルメイクアップ技術試験①
61 ～ 62	2		トータルメイクアップ技術試験②
63 ～ 64	2	日本ﾒｲｸｱｯﾌﾟ技術検定対策	検定 通し練習
65 ～ 66	2		
67 ～ 68	2		
69 ～ 70	2		

2025年度　授業計画書（シラバス）

対象学科	美容科	鹿児島県理容美容専門学校			
科目名	アップスタイル	科目区分	選択	授業形態	講義・実習
対象学年	2年生 通年	担当教員	町・本多・津田・福山・松永・網屋 実務経験　有（美容師）	単位 時間数	60
到達目標	実技修得	評価方法	学期末試験（及第点60点以上） 及第点を取れるまで受講		
科目の 到達目標	アップスタイルは、セミロングやロングヘアのように長さのある毛髪を、頭頂部の方へまとめあげるスタイルであり、このスタイルは、パーティーなど社交的な場へ参加する時に自分を華やかに魅せるためのスタイルであるため、流行に敏速に対応し流行を創作できる感性を修得することを目指す。				
授業内容	アップスタイルの基礎から応用、さらにアイロン技術やブレイドなど多様なドレスヘアの技術を学んでいきます。アップスタイルの応用技術の修得とヘアスタイルとしての応用サロンワークの技術を学ぶ。				
テキスト 教材等	教材：公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論①　・　美容実習①				

授 業 計 画

授業コマ数		項　目	内　容
1 ～ 2	2	アップスタイルの基礎	アップスタイル技術の教育カリキュラムの説明及び諸注意事項
3 ～ 5	3		ブラッシング　逆毛の立て方・ピン留め方・ゴム結び方・ローラーの巻き方 展示・実習
6 ～ 8	3		
9 ～ 11	3		
12 ～ 13	2		夜会巻き　展示・実習・チェック・講評
14 ～ 15	2		
16 ～ 17	2		ポンパドール　展示・実習・チェック・講評
18 ～ 19	2		
20 ～ 21	2		ワンロール　展示・実習・チェック・講評
22 ～ 23	2		ツイストⅠ　展示・実習・チェック・講評
24 ～ 25	2		ツイストⅡ　展示・実習・チェック・講評
26 ～ 27	2		シニヨンカール　展示・実習・チェック・講評
28 ～ 29	2		アイロンカール・マーセルウェーブ　展示・実習・チェック・講評
30 ～ 31	2		リボン編み　展示・実習・チェック・講評
32 ～ 33	2		ロールシニヨン
34 ～ 35	2		日本髪　展示・実習・チェック・講評
36 ～ 37	2		

授業計画			
授業コマ数		項　目	内　容
38 ～ 39	2	自由創作	オリジナル作品の創作
40 ～ 41	2		
42 ～ 43	2		
44 ～ 45	2		
46 ～ 47	2		
48 ～ 49	2		
50 ～ 51	2		
52 ～ 54	3	期末試験	課題作品の制作
55 ～ 57	3		
58 ～ 60	3		